

2024年度 環境経営レポート

2024.4~2025.3



この街のホームドクター

大阪信用金庫



エコアクション21
認証番号 0006013

作成日：2025年12月1日

目次

1. ごあいさつ	1
2. 環境経営方針	2
– 環境理念、環境保全への行動指針	
– SDGs宣言、サステナビリティ宣言、デコ活宣言	
3. 登録事業所の概要	6
4. 環境目標及びその実績	9
5. 環境活動の取組み計画と評価	10
6. 環境関連法規制等の遵守状況	13
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示	13
8. 大阪信用金庫の環境活動	14



1. ごあいさつ

近年の経済状況は「金利ある世界」の到来や日経平均株価が5万円台など、変化の局面を迎えております。2026年の見通しでは、大きな景気後退ではなく、緩やかな成長が続くとされております。

一方で、海外情勢の不安定化やエネルギー・原材料価格の高止まり、円安基調の長期化などにより、物価上昇の影響は依然として続いています。特に中小企業においては、原材料費や人件費の上昇分を十分に価格転嫁できないケースも多く、収益確保や人材確保への対応が引き続き大きな経営課題となっています。

このような環境下において、当金庫は中小企業支援の三本柱である「事業承継支援」「創業支援」「人材雇用支援」を中心に、取引先企業の持続的な成長と地域経済の活性化に向け、きめ細かな支援に取り組んでまいりました。

また、2025年には本店を新築し、環境性能および防災・減災機能の両面において、より高度な施設整備を行いました。本店は、建物の高断熱化や高効率設備の導入等により「ZEB Ready」の認証を取得するなど、環境負荷低減に配慮した施設となっております。加えて、非常用電源設備や災害時の業務継続を想定した設備の整備を行い、地域金融機関としてのBCP（事業継続計画）対応力の強化を図りました。

環境活動におきましては、エコアクション21を通じた環境経営を推進するとともに、取引先企業への普及・支援活動を継続して実施しております。脱炭素社会の実現に向けた動きが加速する中、中小企業においても環境への取り組みは重要性を増しており、当金庫は引き続き、実践的で分かりやすい脱炭素経営支援を行ってまいります。

さらに、当金庫が掲げる行動指針「自主創造」の精神のもと、各営業店が地域特有の課題に目を向け、行政機関や関係団体と連携しながら、地域貢献活動やサステナブルな取り組みに主体的にチャレンジしております。今後も地域金融機関として、地域と共に歩み、みなさまにとって身近で信頼される信用金庫を目指してまいります。引き続き、格別のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

大阪信用金庫

理事長 高井 嘉津義

2. 環境経営方針

環境理念

「だいしん行動綱領」で、当金庫は、高い公共性を有し、地域の中小企業と地域住民のための協同組織の金融機関として、①中小企業の健全な発展、②豊かな国民生活の実現、③地域社会繁栄への奉仕の三つのビジョンを使命としており、環境問題への取組みについては、資源の効率的な利用や廃棄物の削減を実践するとともに、環境保全に寄与する金融サービスを提供するなど、環境問題に積極的に取り組む方針である。

環境保全への行動指針

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ①電力およびガソリンの二酸化炭素排出量の削減
 - ②廃棄物削減の推進
 - ③水使用量の削減
 - ④環境に配慮した金融商品やサービスの提供
 - ⑤店舗周辺の美化による花咲かしんきん運動の展開
 - ⑥グリーン商品購入の推進
2. 環境関連法規制や当金庫が約束したことを遵守します。

制定日：2009年10月14日

改定日：2018年10月1日

理事長 高井 嘉津義

大阪信用金庫SDGs宣言

大阪信用金庫は持続可能な社会の実現のため「この街のホームドクター」として金融サービスの提供を通じて中小企業が有する経営課題や環境問題など地域社会の課題解決に積極的に取り組み、2030年のSDGsの達成に向け使命を果たしてまいります。

大阪信用金庫の重点項目

3.すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進するため「健康経営」を実践します。



8.働きがいも経済成長も

9.産業と技術革新の基盤をつくろう

金融サービスの提供により産業の多様化や技術革新による持続可能な経済成長を保つとともに、すべての人々が働きがいのある人間らしい仕事を持てる社会づくりに貢献します。



11.住み続けられるまちづくりを

地域経済の活性化をはかり、すべての人々が住みやすく活力に満ちた街づくりを推進します。



17.パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発を成功させるため、取引先企業、自治体および諸団体との連携をはかり社会課題の解決に貢献します。



★地域社会に向けた取り組み ～みなさまと共に地域を支える一員として～



- ◆女性活躍の推進◆金融教育の実施◆エコアクション21の普及◆障がい者雇用の推進◆だいしんふれあいスマイル基金◆花咲かしんきん運動
- ◆さくら・夢授業バスケット教室の実施◆清掃・献血活動◆特殊詐欺被害防止への積極的な取組

★地域経済活性化に向けた取り組み ～SDGsに貢献する中小企業を強力にバックアップ～



- ◆経営課題解決「事業承継」「創業・第二創業」「人材雇用」◆ESG金融に対する積極的な取組◆だいしん創業支援ファンド◆おおさか社会課題解決ファンド◆中小企業の海外展開支援◆だいしん地域支援プラットフォーム◆だいしんなんでもネット◆ビジネスマッチング◆景気動向調査◆シェアオフィス「夢やさかい」◆だいしんWORK²ネット

★目標達成のためのパートナーシップ ～地域経済を支えるパートナーとして～



- ◆だいしん産学連携共創機構◆大阪府との包括連携協定締結◆大阪労働局との包括連携協定締結◆中小企業支援団体との連携◆大阪公立大学・大阪工業大学・大阪芸術大学との産学連携

大阪信用金庫 サステナビリティ宣言

地域金融機関として、地域の皆様が安定した繁栄を継続して享受できる社会になるように、大阪信用金庫職員が「自主創造」の精神で取り組み続けることを大阪信用金庫の「サステナビリティ」と定義します。

「自主創造」 とは

- 将来の大阪信用金庫のあるべき姿を想像し、今あるべきことを自ら考え、行動すること
- 日常のあらゆる業務において問題意識を持ち、創意工夫を取り入れること
- 地域の課題を把握し、地域の発展に貢献するため独自の施策を考え行動すること
- 常に問題意識を持ち、問題の解決のために率先して行動すること

3つの重要課題

マテリアリティ

環境



環境問題にもいち早く取り組み、2006年より地域の美化と環境整備を兼ねた全営業店での「花咲かしんきん運動」に加え、2010年には「エコアクション21」の認証を取得すると共に、お客様企業の認証取得支援も行っています。

コミュニティ



お取引先企業の事業継続においては、事業承継支援だけでなく、積極的に創業支援に取り組み、創業を志す方の発掘に努めると共に、「夢やさかい」をはじめとしたインキュベーション施設も開設し伴走支援に取り組んでいます。さらに「創業支援ファンド」を創設し支援するとともに「社会課題解決ファンド」も創設し社会貢献に取り組む企業を支援しています。

人的資源



これらの活動を継続して行うための基礎となるのが役職員の「健康」です。当金庫ではコロナ前の2018年10月に、企業として役職員・家族も含めた健康に責任を持つことを宣言しました。具体的には「健康経営」をキーワードとして、「保健師の採用」や「ペア・チル相談窓口の設置」など役職員が健康で活力あふれる生活を送れるよう取り組んできました。また、2025年9月より、住友生命保険相互保険が提供するサービス「Vitality福利厚生タイプ」を導入し、健康増進や運動習慣の改善に対する意識や行動を変え、健康増進活動を楽しく継続する仕組みづくりを行いました。

大幅なCO₂の削減が求められている日常生活の中、脱炭素の推進を図ることを目的とし、当金庫は2024年5月17日（金）に2050年のカーボンニュートラル実現に向け環境省が推奨している「デコ活宣言」に登録しました。

職員により一層脱炭素を身近に感じてもらい、脱炭素の実現に向けた取り組みを行うために「デコ活宣言」に登録。数十年後の将来の生活がより豊かに、より自分らしく快適で健康に暮らせるために、今後も脱炭素の実現に向けた取り組みを行ってまいります。

当金庫デコ活宣言（環境省ホームページ掲載）

大阪信用金庫

宣言①：製品、サービス、取組展開を通じてデコ活を後押しします！

宣言②：生活・仕事の中で、デコ活を実践します！

大阪信用金庫は、2006年より地域の美化と環境整備を兼ねた全営業店での「花咲かしんきん運動」に加え、2010年には「エコアクション21」の認証取得、2019年に「SDGs宣言」、2022年に「サステナブル宣言」を制定し、持続可能な社会の実現のため「この街のホームドクター」として金融サービスの提供を通じて中小企業が有する経営課題や環境問題など地域社会の課題解決を積極的に進めております。「デコ活宣言」により、金庫職員が脱炭素をより一層意識することで地域発展の一助となるよう実践してまいります。

2024年5月17日
詳細は[こちらから](#)

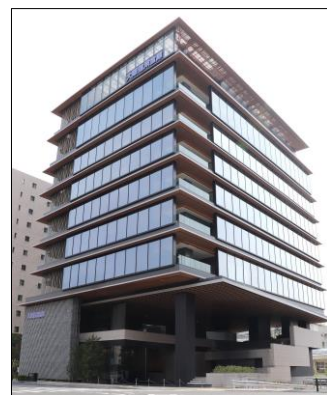
3. 登録事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者名

事業所名 大阪信用金庫

代表者 理事長 高井 嘉津義

創 立 大正9年2月12日（1920年2月12日）



(2) 所在地

本部・本店：大阪府大阪市天王寺区上本町8丁目9番14号

支店：69支店（P8参照）

だいしんビジネスサービス(株)：大阪府大阪市天王寺区上本町8丁目9番14号

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 常勤理事 営業推進部長 松浦 茂年

担当者 営業推進部CSR統括課 中川 弘章

TEL：06-6775-6599

FAX：06-6773-0612

E-mail：csr@osaka-shinkin.co.jp

H P：<https://www.osaka-shinkin.co.jp>



(4) 事業内容（認証・登録の範囲）

金融業

(5) 事業の規模（2025年3月31日現在）

預金残高 2兆5,353億円

貸出金残高 1兆5,863億円

出資金残高 144億円

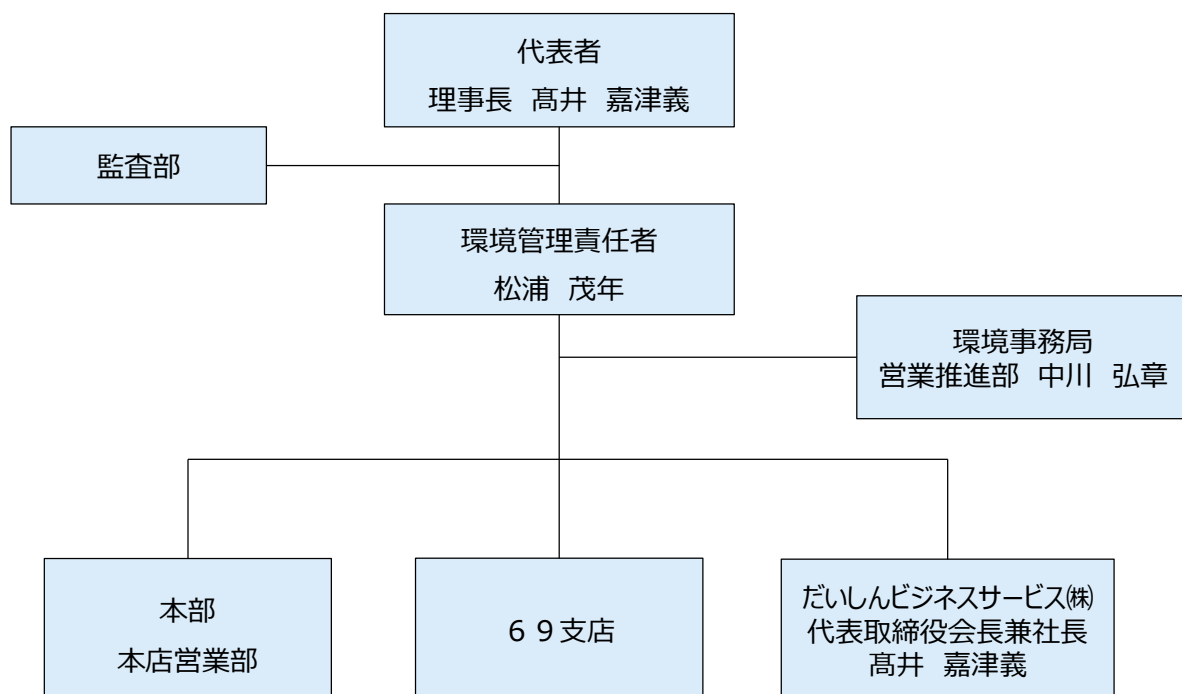
職員数 1,276人（DBS職員、パート等含む）

(6) 事業年度

2024年4月～2025年3月



(7) 組織体制



(8) 環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者（理事長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定 ・環境目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・代表者がエコアクション21を運用し、維持するための経営資源を用意する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・環境関連法規等の取りまとめ及び評価
部室長・支店長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部署における環境方針の周知、各環境活動計画の進捗管理 ・自部署の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部署の特定された緊急事態への対応のための訓練 ・各支店での法令順守
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加
内部監査部	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を適切かつ有効に機能させることを目的とする ・法令等違反行為について環境管理責任者への報告

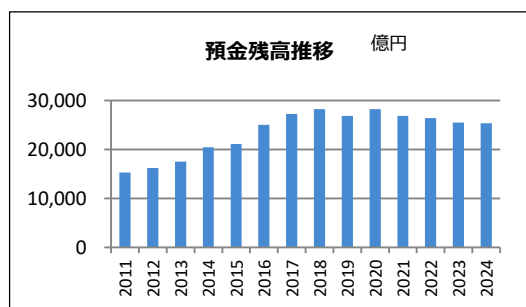
大阪信用金庫 支店一覧（69支店）

店舗名	電話番号	住所	店舗名	電話番号	住所
九 条	06-6581-8758	大阪市西区九条1-29-1	上 新 庄	06-6328-4121	大阪市東淀川区瑞光2-10-30
花 園	06-6658-5221	大阪市西成区花園南1-1-15	天 六	06-6357-1311	大阪市北区天神橋7-6-3OsakaMetro天神橋筋六丁目ビル2階
今 里	06-6752-4331	大阪市生野区新今里3-3-5	はなてん	06-6968-9821	大阪市鶴見区放出東3-21-40コーレルコート放出105号
都 島	06-6922-1378	大阪市都島区都島北通1-11-1	豊 中	06-6862-0141	豊中市曾根東町5-17-18
田 辺	06-6691-7521	大阪市東住吉区南田辺3-2-8	花博公園	06-6996-1621	守口市南寺方南通2-4-13
難 波	06-6213-3531	大阪市中央区難波2-2-3御堂筋グランドビル1階1-2号	尼 崎	06-6426-0011	尼崎市大西町3-17-13
西 淀	06-6472-3871	大阪市西淀川区野里2-25-19	荒 本	072-964-5751	東大阪市横枕2-3
玉 造	06-6762-6351	大阪市天王寺区玉造本町5-3	貝 塚	072-431-2481	貝塚市西町12-15
大 正	06-6552-2376	大阪市大正区泉尾1-27-15	泉 佐 野	072-462-2981	泉佐野市上町3-10-19
平 野	06-6791-2641	大阪市平野区平野本町5-14-24	尾 崎	072-472-0081	阪南市下出727-4
東 大 阪	06-6722-6501	東大阪市友井2-30-17	信 太	0725-41-7911	和泉市池上町1-4-24
日 本 橋	06-6211-2731	大阪市中央区島之内2-15-20	三 国ヶ 丘	072-259-5101	堺市堺区向陵中町2-4-16
杉 本 町	06-6693-6721	大阪市住吉区山之内3-9-1	登 美 丘	072-236-5001	堺市東区大美野33-5
東 湊	072-244-3501	堺市堺区昭和通3-46-2	宿 院	072-238-8001	堺市堺区大町東1-1-2
天 美	072-334-0500	松原市天美東7-8-6	堺 市 駅 前	072-238-0326	堺市堺区田出井町1-1-100
守 口 東	06-6902-1101	守口市藤田町2-5-14	松 原	072-333-0551	松原市岡2-11-13
八 尾	072-994-1511	八尾市植松町8-1-15	鳳	072-273-1305	堺市西区上454-3
四 条 畷	072-878-2121	四條畷市米崎町13-38	泉 南	072-482-3381	泉南市信達牧野583
加 美	06-6794-0881	大阪市平野区加美北5-2-45	深 井	072-278-2311	堺市中区深井中町1211-17
七 道	072-228-0881	堺市堺区錦之町西1-1-20	し も ま つ	072-426-6181	岸和田市上松町2-1-20
城 東	06-6932-5071	大阪市城東区関目2-13-16	金 岡 町	072-258-2021	堺市北区金岡町3021-1
港	06-6571-6771	大阪市港区八幡屋2-4-6	春 木	072-439-2323	岸和田市春木若松町1-35
勝 山	06-6718-1141	大阪市生野区勝山北2-14-8	岸 和 田	072-439-2345	岸和田市野田町2-7-3
森 小 路	06-6951-1331	大阪市旭区森小路2-5-8	泉 大 津	0725-32-4501	泉大津市田中町7-2
上 福 島	06-6454-4741	大阪市福島区福島7-5-19	忠 岡	0725-32-4506	泉北郡忠岡町忠岡東1-18-14
新 大 阪	06-6392-5811	大阪市淀川区宮原3-5-24新大阪第一生命ビルディング1階	久 米 田	072-445-1161	岸和田市小松里町1060-1
鶴 見	06-6911-2831	大阪市鶴見区諸口4-8-12	南 貝 塚	072-432-1321	貝塚市堤32-1
南 森 町	06-6311-7601	大阪市北区西天満4-3-25梅田プラザビル	高 石 南	072-264-5100	高石市綾園2-18-16
生 野	06-6718-2301	大阪市生野区林寺2-18-18	北 信 太	0725-45-0678	和泉市太町145-23
住 之 江	06-6681-0201	大阪市住之江区中加賀屋2-6-4	石 津	072-245-3300	堺市西区浜寺石津町中3-14-18
住 吉	06-6678-6001	大阪市住吉区万代6-9-7	和 泉	0725-45-2121	泉大津市東豊中町1-2-10
茨 木	072-625-3971	茨木市三島丘1-2-7	堺 東	072-233-1151	堺市堺区中瓦町1-4-22
八尾桜ヶ丘	072-997-2791	八尾市桜ヶ丘3-79	箕 面	072-727-9711	箕面市小野原東6-1-7 ノイメゾン小野原式番館1階
永 和	06-6781-1161	東大阪市長栄寺2-5	だいしん未 来	0120-880-755	-
吹 田	06-6387-6121	吹田市岸部北3-5-18			

2025年3月31日現在

4. 環境目標及びその実績

取組項目	年度	2011年度	2023年度		2024年度		2025年度	2026年度
		基準年度	目標	実績	目標	実績	目標	目標
			基準年度比	基準年度比	基準年度比	基準年度比	基準年度比	基準年度比
電力※	(kg-CO2)	1,827,531	1,608,227	1,322,524	1,589,952	1,419,188	1,571,677	1,553,401
	基準年度比	100.0%	88.0%	72.4%	87.0%	77.7%	86.0%	85.0%
ガソリン	(kg-CO2)	203,877	203,877	130,458	203,877	130,775	203,877	203,877
	基準年度比	100.0%	100.0%	64.0%	100.0%	64.1%	100.0%	100.0%
ガソリン※ (原単位)	(kg-CO2) / (億円)	13.30	12.57	5.10	12.50	5.15	12.44	12.37
	基準年度比	100.0%	95.0%	39.3%	94.5%	39.7%	94.0%	93.0%
二酸化炭素排出量 (kg-CO2) 合計		2,031,408	1,812,104	1,452,982	1,793,829	1,549,963	1,775,554	1,757,278
		100.0%	89.2%	71.5%	88.3%	76.3%	87.4%	86.5%
一般廃棄物※	(kg)	258,845	251,080	133,789	251,080	129,189	251,080	251,080
	基準年度比	100.0%	97.0%	51.7%	97.0%	49.9%	97.0%	97.0%
水道水	(m)	17,556	16,590	11,749	16,503	11,213	16,415	16,327
	基準年度比	100.0%	94.5%	66.9%	94.0%	63.9%	93.5%	93.0%
環境商品 エコカーロー ン	(百万円)	1,271	1,525	2,251	1,525	2,011	1,525	1,525
	基準年度比	100.0%	120.0%	177.1%	120.0%	158.2%	120.0%	120.0%
ゴーヤによる 緑のカーテン ※	(店舗数)	60	60	60	60	53	53	53
	基準年度比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	88.3%	88.3%	88.3%
グリーン商品 購入※	(購入率)	62.4%	62.7%	54.0%	62.7%	55.0%	62.7%	62.7%
	基準年度比	0.0pt	+0.3pt	-8.4pt	+0.3pt	-7.4pt	+0.3pt	+0.3pt



年度	預金残高	増加率(基準年度比)
2011年度	1兆5,313億円	-
2022年度	2兆6,397億円	+72.3%
2023年度	2兆5,484億円	+66.4%
2024年度	2兆5,353億円	+65.5%

* 電力の二酸化炭素排出係数は0.318kg-CO2/kWh (関西電力/2019年度/調整後排出係数) にて計算。

* 金庫の業務進展により、ガソリン使用量については預金残高を考慮した原単位(使用量/預金残高)の指標を合わせて記載した。

* 一般廃棄物については、計測方法を2012年度より変更したため、2012年度の実績(258,845kg)を基準とする。

産業廃棄物は什器備品のため不定期での排出となり、目標には設定していません。

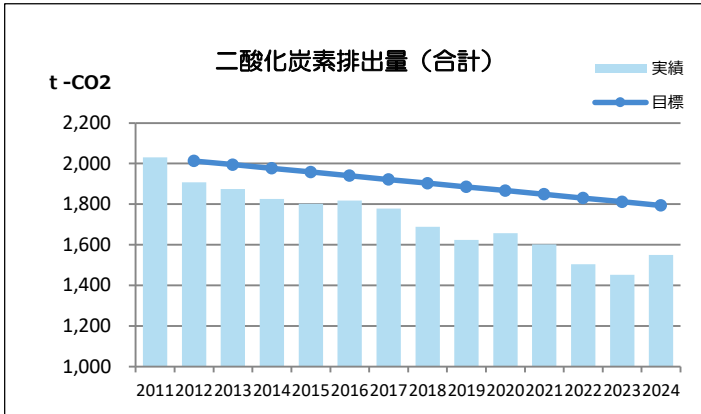
* 「ゴーヤによる緑のカーテン」については、設置可能店は全店設置する。今後改装等で変更があった場合には修正する。

2024年度より設置可能店は53店舗となったため目標を53店舗へ修正。

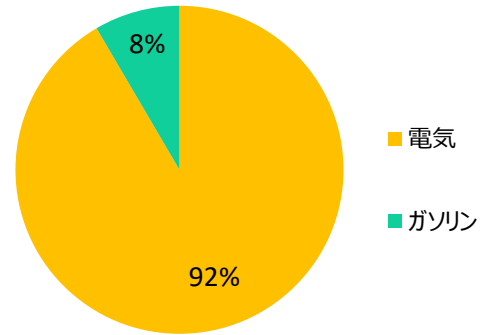
* グリーン商品購入について、2016年度より計測方法をアイテム数から購入率に変更したため、2016年1月～3月の実績(62.4%)を購入率の基準とする。

5. 環境活動の取組み計画と評価

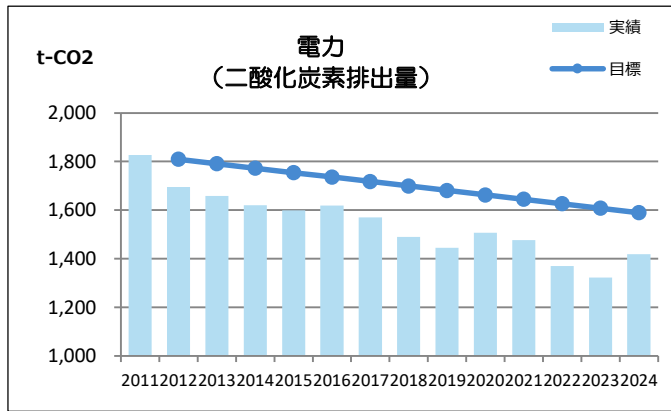
(1) 二酸化炭素排出量の削減



当金庫の二酸化炭素排出量の割合
※都市ガス除く

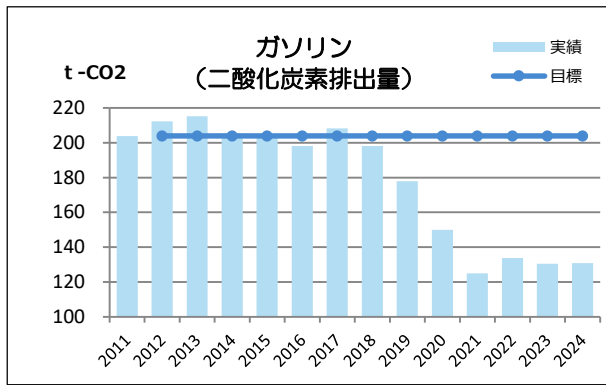


年度	2011	2022	2023	2024
実績 (kg-CO2)	2,031,408	1,504,095	1,452,982	1,549,963
削減率 (基準年度比)	-	-25.96%	-28.47%	-23.70%



年度	2011	2022	2023	2024
実績 (kg-CO2)	1,827,531	1,370,250	1,322,524	1,419,188
削減率 (基準年度比)	-	-25.02%	-27.63%	-22.34%

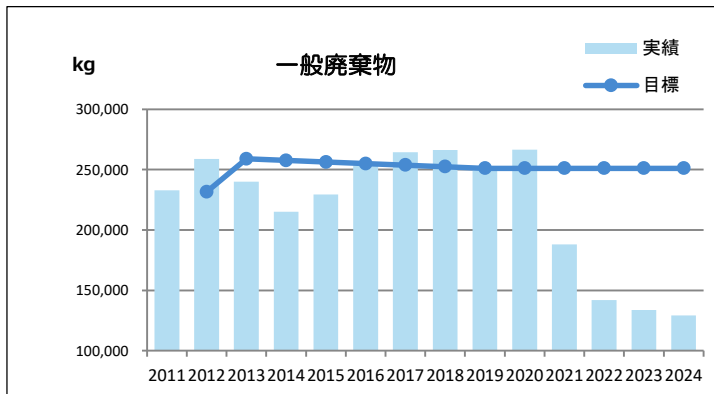
取組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
・残業時間の削減	◎	・業務の平準化や早期退店など、残業時間の削減により節電を図っています。引き続き残業時間の削減に取組み、働きやすい職場・職場の環境改善・生産性向上のために労働時間の短縮を計画的に管理していきます。
・冷房温度28℃設定とクールビズ運動 ・暖房温度20℃設定とウォームビズ運動	◎	・2007年度よりクールビズ・ウォームビズ運動を実施しており、「環境問題への取組み」実施責任者により、設定温度を遵守しています。今後もクールビズ・ウォームビズ運動を継続して取り組みます。
・全館一括冷暖房を17時に停止	◎	・本部は、全館の冷暖房を電気室にて17時に停止しています。
・不要照明の消灯	○	・オフィスの間引き点灯を実施しています。また、食堂や更衣室などの使用していないエリアの消灯を励行しています。
・全照明スイッチに「節電」シールを貼付	◎	・時間外勤務の減少に努めるとともに、全照明スイッチ部分に「節電」シールを貼付し、全ての電源をごまめに切ることを職員全員に意識付けしています。
・OA機器の省エネモード設定	○	・コピー機など電気機器は省エネモードの活用をしています。
・本店ビルの緑化	○	・2階テラスには草花を植え緑化しています。



年度	2011	2022	2023	2024
実績 (kg-CO2)	203,877	133,845	130,458	130,775
削減率 (基準年度比)	-	-34.35%	-36.01%	-35.86%

取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
・買換え時の燃費マーク優先購入	◎	・引き続き公共交通機関の利用促進と、買換え時には軽自動車への変更や燃費を優先した車輛の選定を励行します。
・アイドリングストップ ・急発進・急加速・急停止の抑制 ・冷暖房の控えめ使用	◎	・アイドリングストップ、急加速の抑制については人的な問題であり、ほぼ完全に実施できました。
・バイクから電動自転車への変更 ・バイクから電動バイクへの変更	◎	・営業活動に使用しているバイクを買換え時には電動自転車に変更していきます。2013年度は電動自転車100台を追加で購入し、2014年度以降は随時購入しています。 ・2023年度に豊中支店において電動バイクを4台導入。
・目標の見直し	○	・業況堅調であり金庫全般において有効に自動車使用を削減することが難しいこともあり、預金残高を考慮した 原単位 (使用量/預金残高) の目標もたてています。

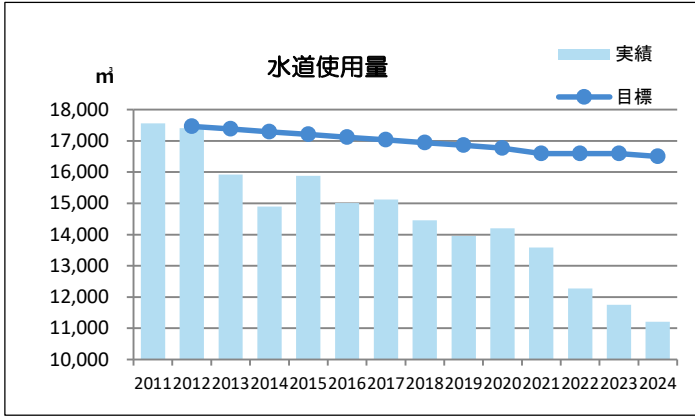
(2) 一般廃棄物の削減



年度	2012	2022	2023	2024
実績 (kg)	258,845	142,014	133,789	129,189
削減率 (基準年度比)	-	-45.14%	-48.31%	-50.09%

取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
・ペーパーレスに対する取り組み	○	・ワークフローシステムやペーパーレス会議等の導入により、ペーパーレスを推進しています。また、本部においてはフリーデスクで業務を行い、ペーパーでの出力を抑えています。
・裏紙使用	○	・両面印刷や使用済み用紙の裏紙を利用し、使用量削減に努めていきます。
・分別による古紙のリサイクル化	○	・古紙のリサイクルについては外部業者への委託が可能となり完全実施しています。
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	・システム部ではテレビ会議システムの導入により会議資料の削減をしています。また、タブレットの導入によるペーパーレス化を進めています。
・マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動の推進	○	・職員食堂では割箸の使用を控えています。 ・缶、ビン、ペットボトル等の分別ボックスを全店に設置しています。

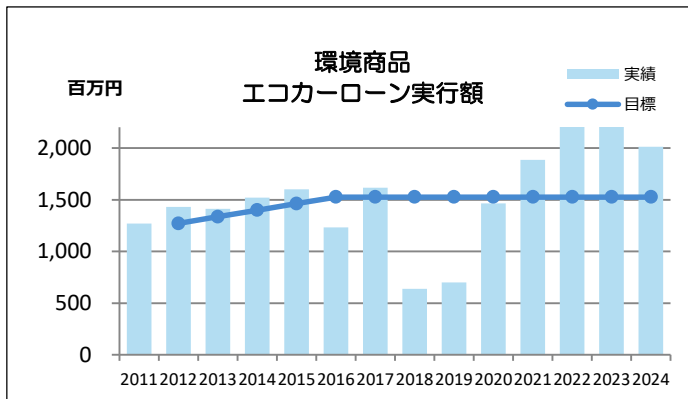
(3) 節水



年度	2011	2022	2023	2024
実績 (m)	17,556	12,274	11,749	11,213
削減率 (基準年度比)	-	-30.09%	-33.08%	-36.13%

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
・手洗い水量の適正化	◎	・手洗い時には、日常的に節水を心掛けていきます。
・全蛇口に「節水」シールを貼付	◎	・全ての蛇口に「節水シール」を貼付し、職員の意識は大幅に改善されています。 ・今後も職員の意識向上により削減に努めていきます。
・トイレを自動蛇口に切替	◎	・節水措置として本館内の全蛇口を自動化し、改善しています。

(4) 環境商品



年度	2011	2022	2023	2024
実績 (百万円)	1,271	2,219	2,251	2,011
増加率 (基準年度比)	-	74.59%	77.10%	58.22%

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
・DOマイカーローン (エコカー等) の実行額	◎	・前年度比低下しましたが目標は達成いたしました。 ・引き続き推進していきます。
・環境に配慮した定期預金の発売	◎	・2016～2023年度 (毎年度) 「笑顔咲くみどりの街定期預金」を発売。 ※募集総額の0.01%を当金庫より大阪府へ寄附。

(5) その他

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
・グリーン商品購入率の増加	×	・目標値-7.4ポイント減少し、目標未達成となりました。引き続きエコマーク商品優先購入を推進していきます。
・花咲かしんきん運動	◎	・全店舗において「花咲かしんきん運動」を展開することにより店舗周辺の美化を行っています。 ・環境問題をマッチさせた「ゴーヤによる緑のカーテンづくり」に毎年積極的に取組み、設置不可店舗以外の全店で設置しました。 (2024年度設置可能店：53店舗)

6. 環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属クズ、廃プラ、廃ガラス等）
家電リサイクル法	冷蔵庫、エアコン、液晶テレビ、プラズマテレビ、洗濯機等
騒音規制法・振動規制法	冷凍機、空調機
消防法	防火管理者、消防計画、危険物の保管
P C B 特別措置法	照明用安定器（2021年処理済）
フロン排出抑制法	業務用空調機、冷水器

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当金庫は2010年にエコアクション21を認証取得して以降、各種エネルギー使用状況の把握や環境経営への取組みを通じて職員の環境に対する意識向上を図り、金庫全体で環境活動を行ってまいりました。

また、お取引先企業に対する経営支援の一環として実施しているエコアクション21普及活動においては、2012年度の取組開始以降、認証取得企業数は52社となりました。

環境目標につきましては、目標を定めるすべてのエネルギー使用量について目標数値を達成することができました。今後も職員の意識向上と省エネ設備の導入・更新により効果を上げていきたいと思っております。

環境活動につきましては、中小企業の脱炭素経営を支援するため、脱炭素セミナーや補助金活用セミナーなどを開催しています。また、ESG金融として、取引先企業にSDGsを啓蒙し、経営を積極的に見直し前進する企業を応援する「サステナブル融資」を取り扱っており、企業の持続可能性の向上を支援していきます。

今後も環境をはじめ、SDGs・ESGの観点から持続可能な社会の実現に貢献していきたいと思っております。

なお、環境経営方針、環境経営目標および環境経営計画、実施体制については現状維持し推進いたします。

2025年12月1日

理事長 高井 嘉津義

8. 大阪信用金庫の環境活動

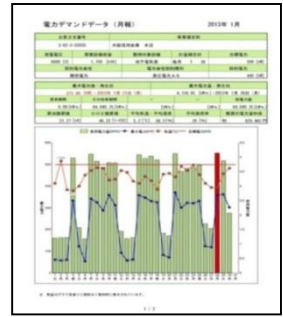
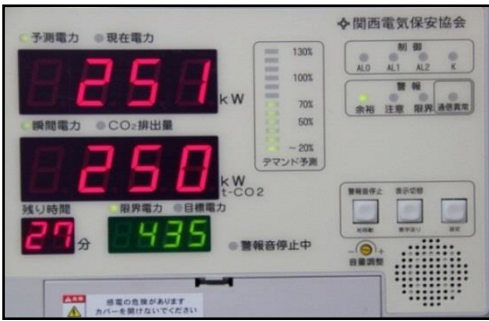
1) 低炭素社会の実現

省エネ対策



■ デマンドメータの設置

節電に対する意識向上と経費削減を図るため、2012年にデマンドメータを各営業店に導入し、電力のピークカット対策を行っています。現在63店舗に設置しています。



本部本店70支店電気使用量一覧表

支店名	2022年10月	2021年10月	削減率	色分け
本部本店	1200	1500	20%	青
支店A	800	900	11%	黄
支店B	500	550	9%	黄
支店C	300	320	6%	黄
支店D	200	210	5%	黄
支店E	150	160	6%	黄
支店F	100	110	9%	黄
支店G	80	85	6%	黄
支店H	60	65	8%	黄
支店I	40	45	11%	黄
支店J	30	35	14%	黄
支店K	20	25	20%	青
支店L	15	20	25%	青
支店M	10	15	33%	青
支店N	8	12	33%	青
支店O	6	10	40%	青
支店P	4	8	50%	青
支店Q	3	6	50%	青
支店R	2	4	50%	青
支店S	1	2	50%	青
支店T	1	2	50%	青
支店U	1	2	50%	青
支店V	1	2	50%	青
支店W	1	2	50%	青
支店X	1	2	50%	青
支店Y	1	2	50%	青
支店Z	1	2	50%	青

導入前2011年と比較すると
25.0%使用量削減（2022年度実績）

削減率に応じて色分け
5%以上増加 赤
5%未満増加 黄
減少 青

不振店には
改善策を求める
(毎月フィードバック)

使用電力が数値・グラフで管理され、見える化されることで、職員の節電に対する意識の向上につながっています。電気使用量については、各営業店が前年比削減を目標に節電に取り組み、前年同月比5%以上増加した店舗は増加要因の検証を行い、PDCAサイクルを回しています。

■ クールビズ・ウォームビズ運動

2007年より全店で「クールビズ」「ウォームビズ」運動を実施しています。

扇風機の併用により、室内の空調を効率よく循環させています。

設定目安温度

暖房 **20℃**

冷房 **28℃**

COOL BIZは、室温を28℃（目標）に設定し、エアコンの稼働を減らし、省エネ効果があります。

COOL BIZ を実施しております。

28℃（目標）

営業店 営業時間内 26℃ 本部事務執務室 28℃
営業時間外 28℃

ご協力をよろしくお願いいたします。

期間 2021年5月6日～10月29日

大阪信用金庫

WARM BIZ 実施中

ウォームビズ

地球温暖化防止のため、暖房時の室温は **20℃** に設定しております。

新型コロナウイルス感染症予防のため、定期的に換気をしています。

実施期間
2020年12月1日(火)～2021年3月31日(水)

大阪信用金庫

■ 「環境カード」の携帯

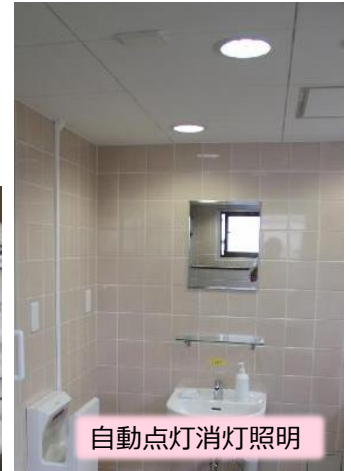
環境経営方針を記載した名刺サイズの「環境カード」を全職員に配付、カード裏面の《私の目標》に環境目標を各自記入し、常時携帯することで環境への意識を高めています。朝礼では、「環境方針」を唱和しています。



■ トイレの節電・節水

各箇所に節電・節水シールを貼付し、未使用時の電気の消灯の徹底、水使用の抑制をしています。

また、蛇口の自動化や水流し音発生器を使用しています。



■ 省エネ設備の導入

当金庫の茨木支店、日本橋ビル、石津支店には、屋上にソーラーパネルを設置しています。

また、各店舗の電球を随時LED照明に変更し、現在64店舗にて設置済みとなっています。(2023.7現在)

そのほか、空調機の交換等随時実施しています。



■ 電動自転車・電動バイクの導入



バイクから電動自転車への切り替えを行い、
2013年には電動自転車を100台購入しました。



豊中支店に電動バイクを4台導入しました。
(2023.5)

*バイク台数については2024.12現在で232台と昨年比38台減少しています。

カーボンオフセット通帳・証書

地球温暖化防止への取組みの1つとして、「カーボンオフセット」の仕組みを利用した通帳を採用しています。

通帳の作成工程で発生するCO₂（カーボン）を排出量に見合った温室効果ガスの削減活動（森林保護など）に投資することにより、相殺（オフセット）させます。2018年より証書にも導入しました。



通帳裏表紙にカーボンオフセットのマークが表示されています。

エコチェック		
エコライフにチャレンジ!		
● ちょっとの移動は車をやめて徒歩や自転車です。	● 通勤通勤は避けよう（お断りしよう）	● 玄関やベランダに打ち水をしよう
● 不要な機器はコンセントをぬいで待機電力を節約してみよう	● マイカーの燃費を計算してみよう	● マイボトル・マイ箸を持ち歩こう
● 買い物にはエコバッグやマイバッグを持ち歩こう	● こまめに部屋のコンセントを抜いて待機電力を減らそう	● 冷蔵庫にはモノを詰め込み過ぎない
● シャワーは短時間にしてほしい	● 買い物（レジストップ）を心がけよう	● エコマークが表示された環境配慮製品を選ぼう
● 詰め替えるので製品を利用し、ゴミを減らそう	● 古い家電は省エネ効果の高い新製品に	● 全額「したる」もエコの達人！
● エアコンのフィルターは定期的な掃除を	● 植物を育てて緑のカーテンを作ろう	大阪信用金庫は、エコアクション21認定企業です。

通帳をめくると、『エコチェック』ができるようになっています。

口座アプリ・大阪信用金庫アプリ



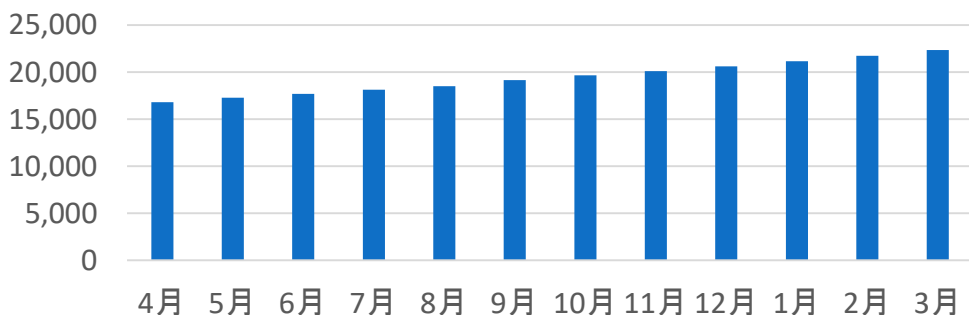
口座開設アプリ

- ・大阪信用金庫アプリ導入による通帳レスの促進
- ・定期預金自動継続サービスによる証書使用削減
- ・ペーパーレス化と二酸化炭素排出量削減



大阪信用金庫アプリ

通帳レス口座推移（2024年度）





■ 融資

● 「サステナブル融資」

SDGsを啓蒙し、経営を積極的に見直し前進する企業を応援するための融資。企業の課題解決に対し一緒に取り組むとともに、資金面でもサポートすることにより企業の持続可能性の向上へつなぐ。

● 経済産業省「省エネルギー設備投資に係る利子補給金助成事業費補助金」指定金融機関

省エネルギー設備を導入する民間事業者に対して、経費を補助する事業。

● 大阪府制度融資「SDGsビジネス支援資金」

大阪府内で事業を営んでいる中小企業者でSDGsの取り組みに関する事業計画を策定し、取り組む方を対象とした融資。

● 「SDGs貢献事業応援融資」

中小企業が有する経営課題や環境課題などに対して、資金面でのサポートを通じてSDGsの達成に向けての事業を行うことを対象とした融資。

● 「DOマイカーローン」

エコカー購入などを対象とする低金利ローン

● 「DOリフォームローン」

エコ関連のリフォーム、設備を含む低金利リフォームローン

● 「ZEH」建設・購入にかかる優遇金利商品

大阪府が建設促進を図る「ZEH（ゼッチエネルギー使用実質ゼロ住宅）」の建設・購入等にかかる住宅ローンに対し、優遇金利を設定。

SDGs貢献事業応援融資	
■ご利用いただける方	融資対象者 ① 当会場の営業地区内で事業を営む法人および個人事業者 ② 財務分析段階で、当会場の指定の事業（会社）に法人または個人事業者 ③ 金融業および関係業に該当しない法人および個人事業者 ※ 当会場のSDGs重点項目（5項目）で実施する事業を行う等、事業は、（C）の程度のため、必ずしも融資を導入する等、決定できません。
■融資形式	証書貸付・手形貸付
■資金使途	SDGs項目の経済事業資金
■お借入金額	運転資金：500万円以内 設備資金：2000万円以内
■お借入金利	変動金利 SDG ≤ 1.7%の目標のうち、当会場の重点項目 5項目の達成率に応じて、当庫審査で決定した 金利より最大0.5%を超過
■お借入期間	運転資金：7年 設備資金：15年
■ご返済方法	元金均等返済、または期日一括返済
■保証人	法人の場合は原則として法人代表者 ※（任意者保証に関するガイドライン）に基づいて、個人事業者の場合は原則として不要
■担保	条件によっては不動産等の担保をいただく場合があります。
■手数料	返済条件を変更した場合等、別途手数料がかかります。

※ 営業エリアの申込受付後、審査の結果によっては、お申込をお断りする場合がございます。このほかにもお断りいただける場合がございます。詳しくは、ご来店にお越しください。

ご返済額の試算等、詳しくは、大阪信用金庫の各支店の相談窓口にお問い合わせください。

大阪信用金庫 2020年1月

■ ファンド

● 「おおさか社会課題解決ファンド」

社会課題の解決に寄与する事業を行う方のために資本と経営の強化を支援しよりよい未来の実現を応援するファンド。

● 「だいしん創業支援ファンド」

これから起業しようとする方、創業後間もない方のために資本と経営の強化を支援するファンド。

おのおさか社会課題解決ファンド

だいしん創業支援ファンド

エコアクション21取組経緯



2009年 9月	「エコアクション21」の活動を開始
2010年10月	本部・本店認証・登録
2011年10月	中間審査
11月	取引先企業向け「エコアクション導入セミナー」開催
2012年 1月	第1回G. P「EA21スクール」開催
10月	全72店舗に認証・登録を拡大
12月	取引先認証・登録 第1号
2015年11月	だいしんビジネスサービス(株)を認証・登録先として拡大

取引先への脱炭素支援

■ エコアクション21普及活動

だいしんグリーン化プログラム (GP) 「エコアクション21スクール」

当金庫の取引先企業を対象に「エコアクション21」の認証取得に向けたセミナーを毎年開催しています。認証取得を目指す企業には「だいしんグリーン化プログラム」に参加いただき、認証取得を支援しています。



《過去15年間の実績》

セミナー参加企業	710社
スクール参加企業	139社
認証取得企業	52社

■ 省エネコストカットまるとサポート事業推進

当金庫のお取引先への経営支援として、おおさかスマートエネルギーセンター（大阪府・大阪市）が実施する「省エネコストカットまるとサポート事業」を推進し、申込企業の募集協力を行っています。

本事業では、省エネの専門家が省エネ診断や省エネ支援を行い、経営改善に役立てていただいています。

- 「脱炭素経営セミナー」開催
- 「省エネ対策・補助金活用セミナー」共催
- 「カーボンニュートラル・SBTセミナー」開催（OZCafと共催）
- 大阪府「脱炭素経営宣言」登録制度の推進

2) 循環型社会の実現

廃棄物削減



■ 各営業店のゴミの分別

各営業店でリサイクルゴミ（紙・ビン・缶等）と一般ゴミに分別して処理しています。



■ 紙書類のリサイクル

本部・営業店から廃棄される紙書類を溶解処理によりリサイクルしています。溶解処理後は段ボールやトイレットペーパーに生まれ変わり、再資源化を図っています。

■ 表彰「ごみ減量優良標」

大阪市環境局より「ごみ減量優良標」をいただきました。
(2012年～2014年、2018年)

「ごみ減量優良標」とは・・・
廃棄物の減量・資源化が効率的に行われているかどうか、
大阪市が立入検査を行い、その結果に基づき、表彰している制度です。



■ 旧制服のリサイクル

2019年4月に女性職員の制服を一新し、旧制服1.7tを一括でリサイクル処分いたしました。排出した旧制服は、防水シートの原料にリサイクル処理されました。



■ 「Osakaほかさんマップ」への協力

大阪府では、プラスチックなどの使い捨て容器を“ほかさん（捨てない）”ために、マイ容器・マイボトルで食料品や飲み物などを持ち帰ることができるお店・スポットを探せるウェブサイト「Osakaほかさんマップ」を立ち上げ、取組に協力する店舗の募集協力を行いました。

詳しくはコチラ：<https://www.osaka-hokasan.jp/sns/>

3) 自然共生社会の実現

花咲かしんきん運動



2006年度より全支店で明るい店舗づくりと環境緑化を目的として「花咲かしんきん運動」を開始しました。全店舗で実施しており、職員が育てた花や花壇はお客様に大変喜んでいただいています。また、ヒートアイランド対策として2008年より毎年、店舗壁面に「ゴーヤによる緑のカーテン作り」を実施しています。

■ 各営業店の活動状況



金岡町支店



信太支店



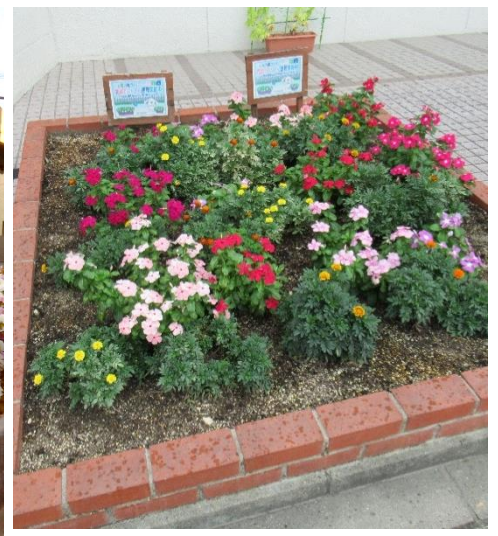
春木支店



尾崎支店



四条畷支店



鶴見支店



杉本町支店

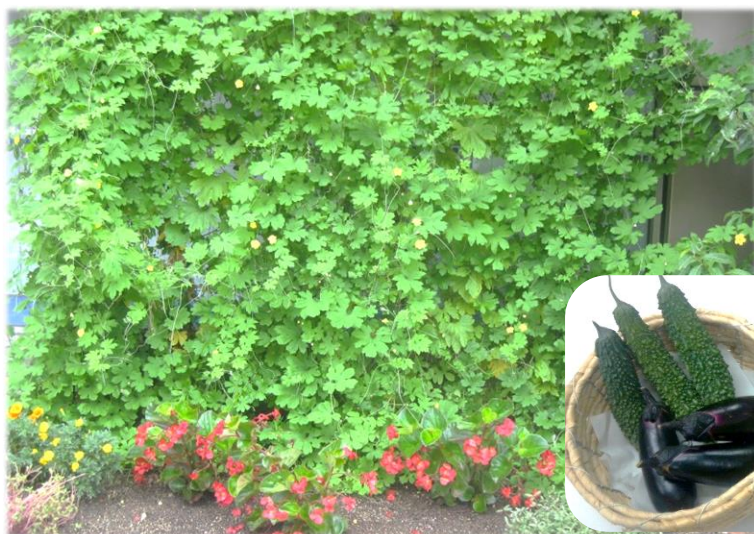


登美丘支店



はなてん支店

■ ゴーヤのカーテン（緑のカーテン）



緑のカーテンは、日光を遮り、熱の原因となる赤外線を多く反射するため、部屋の温度を低く保つことができ、エアコンに負荷をかけず、消費電力をおさえる省エネ効果があります。

2024年度は53店舗で実施しました。

収穫したゴーヤは、窓口でお客様にプレゼントしています。



■ アドプト・ロード

花咲かしんきん運動に伴う店舗周辺の清掃活動の実施により、大阪府・大阪市・堺市等が主催する通称「アドプト・ロード」の認定申請へと至り、現在30店舗で認定を受けています。

- ・大阪府都市整備が管理管轄する「アドプト・ロード・プログラム」
- ・大阪市環境局が管理管轄する「まち美化パートナー制度」
- ・堺市環境業務課が管理管轄する「堺市まち美化促進プログラム」

などがあります。



八尾支店



登美丘支店



東湊支店

■ 大阪府「みどりの風の道形成事業」の支援

大阪府「みどりの風の道形成事業」のグリーンストリート支援を受け、豊中支店の緑化を行いました。この事業は、「緑の風を感じる大都市・大阪」をコンセプトに大阪に緑を増やすことを目的としており、緑化にかかる費用を大阪府から補助されます。



before



after

■ 取組評価

毎年全店舗の花咲かしんきん運動の活動状況を現地審査により評価しています。

【評価項目】

- ✓ 取組姿勢 —— 役席者の取組姿勢、運動委員のリーダーシップ
- ✓ 店内美化 —— 店内の飾りつけ、整理整頓、美化状況
- ✓ 店舗周辺 —— 店舗周辺の美化状況、駐車場の美化状況
- ✓ エコアクション21取組み状況
—— 光熱費等の削減・管理・報告状況、ゴミの分別状況

信用金庫の日「清掃活動・献血活動」



毎年6月15日の「信用金庫の日」に社会貢献活動の一環として、清掃活動と献血活動を実施しています。ご来店のお客様には日頃の感謝の気持ちを込めて【花の種子】をプレゼントしています。また、当金庫の玉造支店と城東支店において献血活動を実施しています。



■ 地域コミュニティとの清掃活動等



難波支店（近隣商店街や企業と）



貝塚支店（二色の浜）

■ フードドライブの取組み

各営業店が社会福祉協議会等と連携し、各家庭で余った食品を持ち寄り、地域の福祉団体や施設、フードバンクに寄付する「フードドライブ」を実施しています。営業店ロビーに回収ボックスを設置し、職員や来店客から集めた食料品を社会福祉協議会等を通じて子ども食堂などに寄付され、活用いただいています。

フードドライブにご協力をお願いします

「もったいない」会「ありがとう」会

フードドライブとは、各家庭で余った食品を持ち寄り、それらを取りまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクに寄付する活動です。学校や職場、イベントなど人の集まるところなら、いつでもどこでもできるボランティア活動です。

回収ボックスの設置場所：大阪信用金庫 社会福祉協議会

対象商品

- 賞味期限まで1か月以上あるもの ●賞味期限のもの
- 製造者または販売者が表示されているもの ●成分またはアレルギー表示のあるもの
- アルコール類（人用、料理酒を除く）や香りの強いもの

商品例

- ・お米
- ・調味料（食塩、醤油、味噌、砂糖など）
- ・乾麺（うどん、そばめんなど）
- ・インスタント、レトルト食品
- ・冷凍食品
- ・缶詰（魚、野菜など）
- ・お菓子
- ・ペットボトルキャップ
- ・お茶
- ・調味料（醤油、食塩、味噌、砂糖など）
- ・ペットボトルキャップ

※回収・持ち寄りできない食品等の種類については、回収店よりお伝えいたします。回収できません。予めご了承ください。

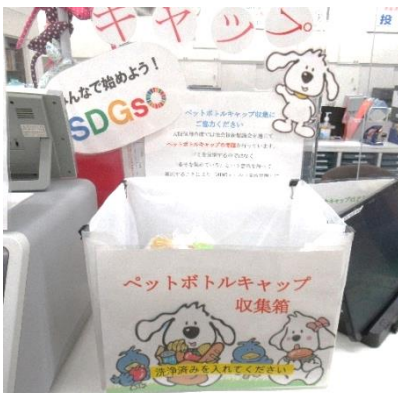
大阪信用金庫



	2024年度
食料品	1.7トン
衣料等	0.5トン
ペットボトルキャップ	3.1トン
合計	5.3トン

■ ペットボトルキャップ回収活動

本部含む全営業店にてペットボトルキャップ回収活動を実施しています。職員やお客様から回収し、各地域の社会福祉協議会等を通じてリサイクル資源として売却され、その売却益が「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」（JCV）に寄付されます。寄付金は、当法人がUNICEFと連携して世界のワクチン工場ハワクチンが発注され、各地の予防接種会場子どもたちへワクチン接種が行われます。



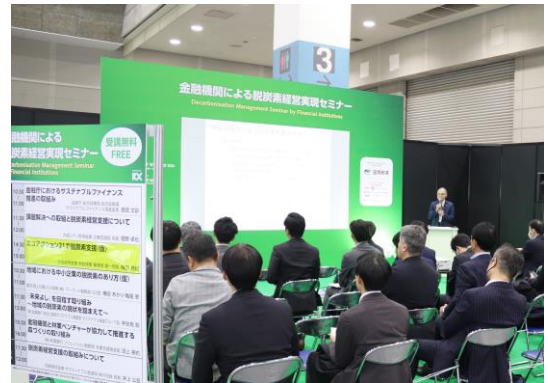


■ セミナー登壇やインタビューに協力し脱炭素を普及

- 2022年 4月10日 環境省主催「環境政策にかかる全国行脚意見交換会」参加
- 2022年 5月12日 近畿財務局・近畿経済産業局・近畿地方環境事務所主催「脱炭素セミナー」パネルトーク登壇（オンライン）
- 2022年 7月19日 全国信用金庫協会・信金中央金庫共催「信用金庫業界における脱炭素社会の実現に向けたキックオフセミナー」登壇（オンライン）
- 2024年 2月14日 近畿財務局・近畿経済産業局・近畿地方環境事務所による「脱炭素」に関するトップインタビュー（環境省・経済産業省ホームページにて内容を紹介）
- 2024年11月20日 脱炭素経営EXPO（西日本開催）で「金融機関による脱炭素経営セミナー」にて登壇。



「脱炭素」トップインタビュー



脱炭素経営EXPOでEA 2 1の活用を講演

■ 防災活動

役職員と地域住民の命を守る社会貢献活動の一環として、2007年より9店舗にて設置していたAED（自動体外式除細動）を預金店舗除く全営業店（60店舗）に設置しました。（2021）

また、NPO法人日本防災士機構が定める「防災士」資格を当金庫職員が取得し、各営業店に配置しています。当金庫の防災士職員による「CPRおよびAED訓練」を展開し、地域の防災力向上と減災に努めています。



近隣の消防署と協力し、地域のお客様とともに共同で防災訓練を実施しました。



天王寺消防署より感謝状（2022.3）



消防訓練

■ ほか

・「21世紀金融行動原則」に署名

“地球の未来を憂い、持続可能な社会の形成のために必要な責任と役割を果たしたいと考える金融機関の行動として策定された”「21世紀金融行動原則」に、2015年12月に署名しました。

持続可能な社会の実現に向け、金融機関の立場から環境問題の解決に貢献していけるような様々な課題に取り組んでいきます。



・環境省制作 ESG金融解説動画「今、なぜ ESG 金融なのか」に協力

ESG金融を解説する動画「今、なぜ ESG 金融なのか？」に当金庫の理事長が出演しました。また、四条畷支店お取引先の東洋紙工株式会社社長にも取組事例としてご協力いただきました。

専門性が高く、理解が難しいとされる「ESG金融」についてわかりやすい動画を作成し、理解を広げています。

「ESG」の考え方は世界的にも広く社会に浸透しており、当金庫も「ESG」金融を推進していきます。



・「ESG金融」促進事業にかかる支援先機関に採択（2019年度）

環境省において、環境・社会にインパクトがあり、地域の持続可能性の向上や地域循環共生圏の創出に資する ESG金融促進を図るべく、地域における ESG金融促進事業に参加する支援先機関の公募が実施され、エコアクション21の普及活動が採択されました。名称：「中小ものづくり企業のエコアクション21サポート」

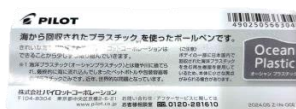
・「エコアクション21」のすすめ パンフレットに掲載



2021年、環境省発行のパンフレット「エコアクション21のすすめ」に当金庫の取組みが紹介されました。

・お客様へお配りする粗品に「海から回収されたプラスチックを使ったボールペン」を採用

「顧客満足度アンケート調査」にご協力いただいたお礼にオーシャンプラスチックのペンを配布しました。



海から回収したプラスチックを使ったボールペン